



株主の皆様へ

代表取締役社長
多田野 宏一

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに2018年度中間期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、個人消費が堅調に推移、企業収益の改善を背景に設備投資が増加、生産や輸出は持ち直し、景気は緩やかに回復しました。米国経済は回復持続、欧州経済は緩やかに回復、新興国は持ち直しの動きに足踏みが見られました。一方で、米中をはじめとする貿易摩擦の影響、英国のEU離脱問題、中東の地政学的リスク等もあり、極めて不透明な状況が続いております。

私どもの業界は、日本では、東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設需要・復旧復興・防災減災・インフラ老朽化対策・民間建設投資等により稼働は堅調に推移しました。ミニラフテレーンクレーンの排ガス規制駆け込み需要反動減により、需要は減少しました。海外では、機種別・地域別にばらつきはあるものの、需要は回復基調となりました。

当中間期は、売上高は、日本向けが減少、海外向けが増加となりました。売上は横ばいの中、コストアップや製品構成の変化により売上原価率が悪化し、販売費及び一般管理費の増加により、3年連続の減収減益となりました。なお、長期成長に向けた生産能力の拡大のため、2017年11月に高松市内で新工場の建設に着手しました。2019年度の稼働を目指し、約215億円を投資予定です。

さて、本年1月19日に公表しました米国排ガス規制の緩和措置に関する自己申告は、現在、米国環境保護庁との協議が進行中です。協議の終了時期は見通せておりませんが、今後、開示が必要な事由が判明しましたら、適時適切に対応いたします。なお現在は、最も厳しい規制に適合するエンジンを搭載した建設用クレーンのみを販売しており、北米での販売に影響は出ておりません。株主の皆様および関係各位にご心配をおかけしますことをお詫び申し上げます。

今後の経済見通しにつきましては、日本では、個人消費は持ち直し継続、生産や輸出は緩やかに増加、企業収益の改善を背景に設備投資は増加するなど、景気は回復の持続が期待されます。海外では、景気回復が期待される一方、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、中東での地政学的リスク等もあり、引き続き不透明な状況が懸念されます。

当社グループを取り巻く市場環境は、日本では、建設用クレーンは高稼働を維持するものの、オペレーター不足もあり需要は横ばい、車両搭載型クレーンは小型トラックの排ガス規制等による駆け込み需要もあり増加、高所作業車は需要サイクルの観点から減少を見込んでおります。海外は、需要サイクルの観点から2017年をボトムに増加に転じると予想しております。

2017年度をスタートとする「中期経営計画(17-19)」は「強い会社」に(赤い矢印に集中)を基本方針として、3つの重点テーマ実現のために、9つの戦略に取組んでおります。

「強い会社」とは、いかなる外部環境にあろうとも、「利益を出す」「人を育てる」を毎期継続することができる会社です。

当社グループでは、コントロールできない「市場：需要・為替(=青い矢印)」の中で、事業に対する「自助努力(=赤い矢印)」に集中し、これに「投資(=黄色い矢印)」の成果を加えたものが、「業績(=黒い矢印)」と位置付けております。「中期経営計画(17-19)」では、「強い会社」になるために「赤い矢印」に集中することを基本方針としたものです。

・3つの重点テーマ

- ① 更なるグローバル化(ONE TADANO, Wide & Deep)
- ② 耐久性アップ(6つの鍵)
- ③ 競争力強化(四拍子そろったメーカー)

・9つの戦略

- ① 市場ポジショニングアップ
- ② 商品力強化
- ③ グローバル&フレキシブルものづくりへの取り組み
- ④ 感動品質・感動サービスの提供
- ⑤ ライフサイクル価値の向上
- ⑥ ソリューションビジネスへの取り組み
- ⑦ 収益力・資産効率のレベルアップ
- ⑧ 成長基盤の確立
- ⑨ グループ&グローバル経営基盤の強化

なお、2018年度は、「中期経営計画(17-19)2年目の取り組み」・「赤い矢印」への集中と「黄色い矢印」への取り組み・「青い矢印」の変化への備えと競争激化への対応」を推進して参ります。

また、当社グループは、「中期経営計画(17-19)」の最終年度の2019年8月29日に創業100周年を迎えます。

私たちタダノグループは、「企業が社会や人との調和の中に生かされている存在」との認識のもと、地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進し、全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化することで、「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指します。

中間配当につきましては、1株13円とさせていただくことに決定いたしました。株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

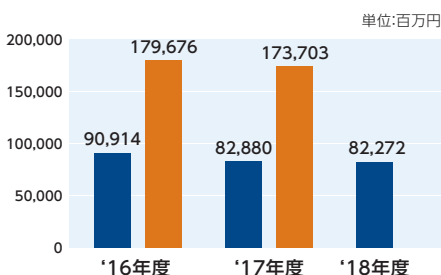
2018年12月

営業の経過及び成果

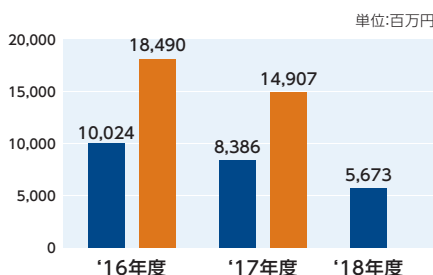
日本向け売上高は、建設用クレーンが横ばい、車両搭載型クレーンと高所作業車が減少し、444億7百万円(前年同期比92.7%)となりました。海外向け売上高は、中東向け売上は大幅に減少しましたが、欧州・北米向け売上が増加し、378億6千4百万円(前年同期比108.2%)となりました。この結果、総売上高は822億7千2百万円(前年同期比99.3%)、海外売上高比率は46.0%となりました。

売上は横ばいの中、コストアップや製品構成の変化により売上原価率が悪化し、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は57億4千3百万円(前年同期比67.2%)、経常利益は56億7千3百万円(前年同期比67.6%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は40億8千1百万円(前年同期比68.4%)となりました。

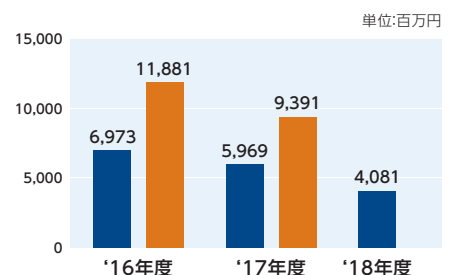
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



■ 中間期 ■ 通期

タダノグループの連結業績の概況

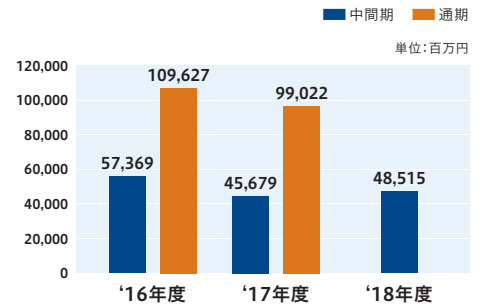
タダノグループの主要品目別売上高の推移

建設用クレーン

日本向け売上は、ミニラフテレーンクレーンの需要が減少する中、新モデルと大型機種増販に取り組み、179億1千5百万円(前年同期比98.7%)となりました。

海外向け売上は、中東向け売上は大幅に減少しましたが、欧州・北米向け売上が増加し、306億円(前年同期比111.2%)となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は485億1千5百万円(前年同期比106.2%)となりました。

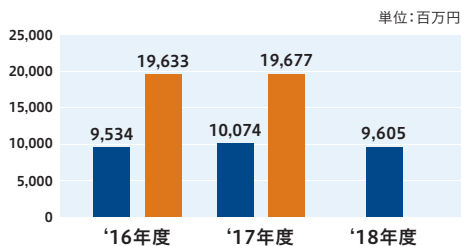


車両搭載型クレーン

日本向け売上は、トラック需要が前年同期比横ばいの中、搭載率の低下により、88億1百万円(前年同期比95.3%)となりました。

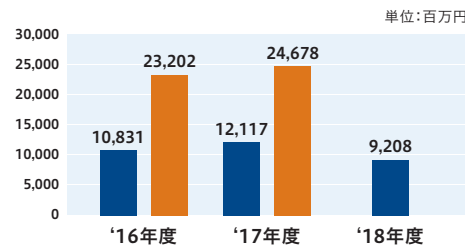
海外向け売上は、東南アジア・中東向け販売体制を強化しているものの、8億4百万円(前年同期比95.9%)となりました。

この結果、車両搭載型クレーンの売上高は96億5百万円(前年同期比95.3%)となりました。



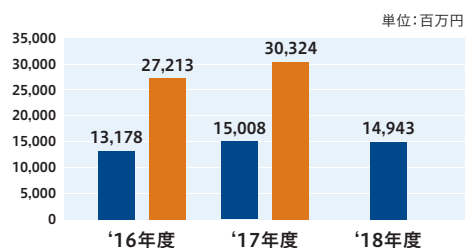
高所作業車

通信業界の設備投資の拡大はあったものの、インフラ点検補修用途のニーズを背景にしたレンタル業界向け売上が一巡し、高所作業車の売上高は、92億8百万円(前年同期比76.0%)となりました。



その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、149億4千3百万円(前年同期比99.6%)となりました。



連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(前期):2018年3月31日現在
(当四半期):2018年9月30日現在

単位:百万円

科目	前期	当四半期
(資産の部)		
流動資産	188,687	184,076
現金及び預金	86,854	78,680
受取手形及び売掛金	41,996	35,268
電子記録債権	3,505	3,947
商品及び製品	23,232	28,867
仕掛品	21,682	23,670
原材料及び貯蔵品	9,637	9,942
その他	2,100	3,837
貸倒引当金	△ 321	△ 137
固定資産	56,814	65,697
有形固定資産	41,747	46,499
建物及び構築物	12,279	12,406
機械装置及び運搬具	2,798	2,921
土地	23,025	23,059
リース資産	538	563
建設仮勘定	1,262	5,820
その他	1,842	1,728
無形固定資産	1,187	1,499
投資その他の資産	13,879	17,698
投資有価証券	7,209	10,805
繰延税金資産	6,088	6,382
その他	1,858	1,681
貸倒引当金	△ 1,277	△ 1,172
資産合計	245,501	249,774

科目	前期	当四半期
(負債の部)		
流動負債	70,334	74,592
支払手形及び買掛金	28,310	29,761
電子記録債務	8,417	8,901
短期借入金	18,604	21,586
リース債務	215	203
未払法人税等	3,517	2,697
引当金	1,641	1,441
未払金	4,532	3,988
未經過割賦販売利益	159	37
その他	4,937	5,974
固定負債	25,122	24,202
社債	10,000	10,000
長期借入金	4,559	3,729
リース債務	372	323
繰延税金負債	91	93
再評価に係る繰延税金負債	2,109	2,109
退職給付に係る負債	7,360	7,317
その他	629	629
負債合計	95,457	98,795
(純資産の部)		
株主資本	147,841	150,276
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	16,853	16,853
利益剰余金	120,606	123,041
自己株式	△ 2,639	△ 2,640
その他の包括利益累計額	1,615	138
その他有価証券評価差額金	1,622	1,540
土地再評価差額金	1,270	1,270
為替換算調整勘定	△ 585	△ 2,050
退職給付に係る調整累計額	△ 693	△ 622
非支配株主持分	587	564
純資産合計	150,044	150,979
負債純資産合計	245,501	249,774

第2四半期連結損益計算書(累計)

(前四半期):2017年4月1日から2017年9月30日まで
(当四半期):2018年4月1日から2018年9月30日まで 単位:百万円

科目	前四半期	当四半期
売上高	82,880	82,272
売上原価	59,120	60,382
割賦販売利益繰延前売上総利益	23,759	21,890
未經過割賦販売利益戻入	67	141
未經過割賦販売利益繰入	39	19
売上総利益	23,786	22,011
販売費及び一般管理費	15,238	16,267
営業利益	8,548	5,743
営業外収益	192	178
営業外費用	354	249
経常利益	8,386	5,673
特別利益	33	6
特別損失	29	9
税金等調整前四半期純利益	8,391	5,669
法人税、住民税及び事業税	2,112	1,899
法人税等調整額	288	△ 330
法人税等合計	2,400	1,569
四半期純利益	5,990	4,100
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,969	4,081

第2四半期連結 キャッシュ・フロー計算書(累計)

(前四半期):2017年4月1日から2017年9月30日まで
(当四半期):2018年4月1日から2018年9月30日まで 単位:百万円

科目	前四半期	当四半期
I 営業活動による キャッシュ・フロー	17,079	2,431
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,324	△ 11,042
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,771	1,086
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 50	△ 586
V 現金及び現金同等物の 増減額	12,932	△ 8,111
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	68,291	86,624
VII 現金及び現金同等物の 四半期末残高	81,224	78,513

会社概要 (2018年9月30日現在)

概要

商号	株式会社タダノ TADANO LTD.
資本金	13,021,568,461円(発行済株式の総数 129,500,355株)
設立	1948年8月24日
従業員数	単独1,439名 連結 3,384名
事業内容	建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売
本社	香川県高松市新田町甲34番地
工場	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、多度津工場(香川県多度津町)、千葉工場(千葉市)
研究所・試験場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
支店・営業所	10支店・23営業所
海外事務所	北京事務所、中東事務所、モスクワ事務所

グループ会社

〔国内〕	〔海外〕
株式会社タダノアイメス	タダノ・ファウン GmbH [ドイツ]
株式会社タダノアイレック	タダノ・ファウン・シュタールパウ GmbH [ドイツ]
株式会社タダノエステック	タダノ・ユーケー Ltd [イギリス]
株式会社タダノエンジニアリング	タダノ・フランス SAS [フランス]
株式会社タダノテクノ東日本	タダノ・ネーデルランド B.V. [オランダ]
株式会社タダノテクノ西日本	タダノ・ベルギー B.V.B.A. [ベルギー]
株式会社タダノ教習センター	タダノ・アメリカ Corp. [アメリカ]
株式会社タダノ物流	タダノ・マンティス Corp. [アメリカ]
株式会社タダノシステムズ	タダノ・アメリカ・ホールディングス Inc. [アメリカ]
株式会社タダノビジネスサポート	タダノ・チリ SpA [チリ]
株式会社戸田機工商会	タダノ・ブラジル・エキパメントス・デ・エレヴァサオン Ltda. [ブラジル]
	多田野(北京)科貿有限公司 [中国]
	韓国多田野株式会社 [韓国]
	タダノ・アジア Pte.Ltd. [シンガポール]
	タダノ・タイランド Co.,Ltd. [タイ]
	タダノ・イタルタイ Co.,Ltd. [タイ]
	タダノ・インド Pte.Ltd. [インド]
	タダノ・オセアニア Pty Ltd [オーストラリア]
	北起多田野(北京)起重機有限公司 [中国] ^(※)
	台湾多田野股份有限公司 [台湾] ^(※)

(※) いずれも関連会社であり、他は全て子会社です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要がある場合には、あらかじめ公告して定めます。
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.tadano.co.jp/)に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 ☎0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ^(※) (※) トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ^(※) みずほ銀行 本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※) トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

役員

代表取締役社長	多田野 宏	一正環
代表取締役副社長	鈴木 山	陽一朗 ^(※)
取締役・執行役員専務	西伊藤 康	藤 伸彦 ^(※)
取締役・執行役員常務	吉田 康	伊藤 康之 ^(※)
取締役		
執行役員常務	飯村 慎一	幸六一
執行役員常務	高橋 梨倉	莊 憲
執行役員常務	澤田 憲	一 箭
執行役員	程 本	親之
執行役員	川本 博	啓之
執行役員	高木 啓	有彦
執行役員	多田野 有	雅彦
執行役員	池田 浦	田 裕
執行役員	林 徳	田 幸
執行役員	五味 野	官 耕
執行役員	インゴ・シラー	洋 之
執行役員	合田 洋	之 洋
常勤監査役	児玉 義人	北村 明彦 ^(※)
常勤監査役	井之川 和	三宅 雄一郎 ^(※)

(※) 社外取締役及び社外監査役



高松工場[高松市] (高所作業車の製造)

ホームページのお知らせ

ホームページにアクセスしていただきますと、当社の各種情報をご覧いただけます。



<http://www.tadano.co.jp/>

